

江古田の獅子舞



いまむかし

皆さんは、江古田の獅子舞をご存じですか？

江古田の獅子舞は、江古田地区に古くから伝わる民俗芸能です。江古田氷川神社へ向かって獅子舞行列が町を練り歩き、神社では、獅子舞が笛や太鼓の音色に合わせて踊り、舞を奉納します。

江古田の獅子舞の起源は、鎌倉時代にまで遡ります。当時の江古田村には御嶽神社という神社があり、そこで獅子舞を行っていたのが始まりです。その後、御嶽神社や氷川神社を統括する別当という地位にあった東福寺で舞われるようになります。1913(大正2)年に氷川神社に地元の4つの神社が合祀されてからは、氷川神社で舞うようになりまし

江戸時代、三代将軍家光公が江古田に鷹狩りに来たとき、東福寺で獅子舞を上覧した記録が残っています。東福寺には当時「御成りの間」が設けられていました。三代将軍上覧の由緒ある獅子舞ということから、祭礼の際には、幕府から特別に「御用」と書かれた高張提灯を掲げることが許されてきました。

1889(明治22)年には憲法発布の祝賀のために、靖国神社の神前で獅子舞を奉納したこともあります。その時に靖国神社から毎年例祭に奉納してほしいと申し出がありました。諸般の事情から継続して出演することはできませんでした。

こうした歴史や特色の貴重さから、江古田の獅子舞は、1982(昭和57)年に中野区無形民俗文化財に登録され、また2017(平成29)年には、東京都指定無形民俗文化財(民俗芸能)へと指定されました。

江古田の獅子舞は長い歴史と伝統を持った重要なものです。

そのため、獅子舞の研鑽保存、演舞の育成、文化芸能の継承を目的として、1969(昭和44)年に江古田獅子舞保存会が発足しました。

今回、江古田の獅子舞をより深く知るために、保存会の世話役をしている、深野さんと高崎さんより、お話を伺いました。

お二人について



深野さんは小学生の頃から獅子舞に参加していたベテランです。昔は獅子を被り、舞を披露していたこともあります。現在は舞と笛の指導に当たっています。



高崎さんは6年ほど前から保存会に参加しています。元々お父様が保存会で活動されていて、獅子舞は子どもの頃からよく見ていたそうです。獅子舞の文化財申請など、事務にまつわる仕事を主に担当されています。

江古田の獅子舞、ここが凄い！

江古田の獅子舞は女獅子・中獅子・大獅子と三頭の獅子が登場します。こうした三頭の獅子舞は各地にみられるそうですが、三頭とも大人が演じる一般的な獅子舞に対して、女獅子を小学生が演じます。また獅子のほかに周りのものが一緒に踊り舞うことなく、三頭の獅子だけの厳粛な舞であることも特徴といえます。

江古田獅子舞保存会の方から、お話を伺いました！



↑昭和の頃の獅子舞行列。大勢が参加する賑やかな様子は、当時も今も変わっていません。

参考資料：『江古田の獅子舞』（出版社不明、1970年、所蔵：江古田・中央・南台）
『ふるさと中野の民俗と行事』（中野文化センター郷土資料室／編、1977年、所蔵：全館）
江古田の獅子舞の資料は、図書館の地域資料コーナーにあるほか、中野区歴史民俗資料館にもあります。また、保存会で作成した貴重なDVDは、図書館で貸出が可能です。

江古田の獅子舞の伝統を継承していくために、保存会では獅子舞の後継者を募集しています。小学校の授業で、獅子舞の紹介をするなどの活動を行っています。なかなか舞子が集まらず、伝承していくことが一番の課題だそうです。獅子舞は約2週間の練習で踊れるようになるそうですよ。興味のある方は、参加してみませんか？

後継者募集中！

獅子舞をきちんと奉納するためにも、準備はとても大切です。隔年の本祭では約25日、例祭では約2週間かけて、獅子舞の稽古が行われます。今では社務所でやっていますが、昔は保存会の世話役の人が、御宿といって自宅を提供して、町会ごとに稽古をしていたそうです。獅子舞で何が大変なのかを深野さんに伺うと、とにかく毎年準備も稽古も大変とのこと。笛の稽古では、ひたすら実演してみせるため、終わる頃には疲れて首が回らなくなっているそうです。それでも獅子舞の時期が近付くと、「昔からの血が騒ぐ」と、保存会の皆さんが毎年楽しみにしているのが伝わってきました。

今も昔も準備は大忙し



獅子舞行列のルート



※この記事は江古田図書館が作成しました。

江古田の獅子舞は、毎年10月の第一土曜日の翌日(日曜日)に行われます。正午に獅子舞の行列が江古田1丁目の芳花園を出発し、約2時間かけて氷川神社を目指します。行列は、女獅子・中獅子・大獅子の三頭の獅子に加え、青龍・白虎・朱雀・玄武の四神の飾りをつけた人や、笛や太鼓などの演者が加わります。さらに山車や神輿もそれに続き、とても賑やかな行列が、氷川神社を目指して進んでいきます。氷川神社では、女獅子・中獅子・大獅子が神前で舞を奉納します。その後舞楽殿で舞を披露し、夜になるまで続けられます。また、隔年で本祭が行われ、その年は前日の土曜日に各町内を神輿や太鼓が先頭になって獅子舞行列をする「町内廻り」が行われます。